

豊頃町過疎地域持続的発展 市町村計画を策定しました

町では、本町特有の各種地域資源を持続可能な形で活用しながら、基幹産業と快適な生活環境の整備など、自立・持続可能な地域社会の形成や地域活力のさらなる向上とともに過疎からの脱却を図る取組みを進めるため、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「豊頃町過疎地域持続的発展市町村計画」を議会の議決を経て策定しましたので、次のとおり公表します。

【計画の概要】

1. 計画名 豊頃町過疎地域持続的発展市町村計画
2. 計画期間 令和8年4月1日から令和12年3月31日までの5年間
3. 対象地域 豊頃町全域

【計画の構成】

1. 基本的な事項
2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成
3. 産業の振興
4. 地域における情報化
5. 交通施設の整備、交通手段の確保
6. 生活環境の整備
7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
8. 医療の確保
9. 教育の振興
10. 集落の整備
11. 地域文化の振興等
12. 再生可能エネルギーの利用の推進
13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項



なお、豊頃町過疎地域持続的発展市町村計画の内容は、町ホームページ (<https://www.toyokoro.jp/page/7246.html>) で確認することができます。



問合せ先 役場総務政策課政策推進係 ☎ (574) 2211

2/28 ゴムの力を楽しく学べる夢キッズで工作教室



える夢館で、える夢キッズが行われました。午前の部では理科実験としてNPO教育支援協会北海道の内山さんを講師に招き、空気にまつわる実験が行われました。午後の部では、東京学芸大学の鉄矢教授を講師に迎えて工作教室が行われました。

工作教室では、輪ゴムを使った工作が行われ、子どもたちはゴムの力の凄さを学びました。また東京学芸大学の地域おこし協力隊インターン生がボランティアで参加し、子どもたちの手助けを行いながら、一緒に楽しんでいました。

2/26 素晴らしい作品が受賞 表彰状が伝達される



「第38回全十勝小・中学校 学級・学校・学習新聞コンクール(十勝毎日新聞社外3団体主催)」で最優秀賞に選出された生徒1名が豊頃中学校の伊藤校長に受賞の報告を行いました。また他3名の生徒が入賞しました。

最優秀賞に選出された田中永愛さんは表彰式で表彰状が手渡され、他3名については豊頃中学校の伊藤校長から伝達されました。「嬉しい気持ちもあったがそれよりも驚きの方が大きかった」と受賞した気持ちを語りました。

2/24 大津地域防災講演会・意見交換会が開催



大津地域コミュニティセンターで「大津地域防災講演会・意見交換会」が開催され、地域住民17名を始め、役場職員や自衛隊など関係する職員が参加しました。

大津地区防災タイムライン作成のため開催されたこの講演会では、東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授 松尾一郎氏を講師に招き、今後起こりうる津波の脅威に備えて大津で取り組みたいことや、昨年発生した災害時にどのような対応を取ったかのワーキングなどを行いました。今回挙がった意見は、今後開催予定の講演会・ワークショップで取り上げられる予定です。

3/16 豊寿大学で10名の生徒が卒業



令和7年度豊寿大学卒業式並びに修了式がえる夢館はるにれホールで行われました。中川直幸大学長から卒業生10名に一人ひとり卒業証書が手渡され、各科修了生代表にも修了証が手渡されました。

福井一浩自治会長は「大学生生活で得た多くの知識とこれまでの経験を生かし、地域や町の発展に貢献できるように、引き続き努力するとともに、私たちの人生最大の目標である健康で長生きを実現させていくためにも、豊寿大学や町内の仲間と共にますます元気で頑張ろうと思っています」と謝辞を述べました。

3/12 親子ふれあい遊びで楽しく交流



保健センターで、乳幼児を対象とした「親子ふれあい音楽遊び」が行われ、14組16人の親子が参加しました。

Music Studio Sakaeの坂本栄枝さんを講師に迎え、明るいメロディーに合わせてリズム遊びや、大きなスクーフを使った遊びを楽しみ、音楽を通して親子のコミュニケーションを深めました。

3/6 地域おこし協力隊インターン報告会が行われる



地域おこし協力隊インターンとして、2月24日に辞令交付を受けた東京学芸大学の学生4名による、町内小中学校での2週間の活動に関する報告会が行われました。町内の活動を通じて学んだことや、東京での学校生活と比較して印象に残ったことなどが報告されました。